

「ビジョンを語る会」主な意見 多可町八千代区コミュニティグループ（マイスター工房八千代）

実施日： 10月14日(水) 人数：20人

（頑張れるのは皆のバイタリティー）

コロナで1か月休んだが、皆が働きたいということで、密にならない対策をして、店頭に来られる客に巻き寿司を300本近く、デパートに1,500～2,000本近くを売っている。20年間頑張ってきたのはスタッフたち皆、バイタリティーがあって頑張ってくれているからだ。

（若者の雇用確保）

多可町は若者が働く場が少なく、外に出ていったままだ。30年後とは言わず近い将来に働ける環境を整備し、若い人が戻って来られる地域にしないといけない。マイスター工房のように活気があってお客さんが多く来ているところもあるが、地域全体が同じように切磋琢磨し、町を盛り上げていくことが必要だ。

（小学校の廃校）

私の長男は、結婚して子どもが小学校に上がるまでという約束で多可町の外へ出たが、その小学校が廃校になって「もう地元に戻る意味がないのでは」と言われた。子どもたちが集える学校もなくなると、ふるさとの魅力がなくなっていくのではないかと寂しい気持ちだ。

（お年寄りに優しい町に）

スーパーに高齢者がタクシーで来ているのをよく見かける。家に送迎する人がいないのだろう。30年後に自分が年寄りになったとき、どうなっているのか不安になる。近くに病院もないし、バスも1時間に1本しかなく、バス停も遠い。お年寄りに優しい町になって欲しい。

（若い人もお年寄りも働ける場所）

廃校になったところに新しい会社ができ、80歳の主人が勤めている。今までボイラー一筋で、ボイラーや汚染水質、大気汚染に関する資格があり、役立たせてもらって喜んでいる。若い人もお年寄りも働ける場所が30年後も続いたらいいと思う。

（多可町には何かが足りない）

子どもたちは大学で京都や大阪に出ると、そこに就職して帰ってこない。Uターンして帰るにも就職先がない。教職員になった子どもは地元へ帰ってくるのができたが、多可町をでて小野市辺りに住むことを考えている。多可町には何かが足りないのかなと思う。

（長く勤めたい）

10年ほど、マイスター工房八千代に勤めている。健康に気をつけて長く勤められるように心がけていきたい。

（マイスター工房が賑わいを生んだ）

八千代区の何もない所にお店ができて、お客さんを全国から八千代区まで引っ張ってきたことに感心している。マイスター工房のおかげで賑わいができ、地域が潤い活性化しており、勤めや生活ができてありがたい。

（人間性が大事）

マイスター工房八千代の誇りは施設長の人間性。マイスター工房八千代の技術は名高いが、人間性も大事だと思う。

(75歳でも頑張っている)

私は炊飯の係で、美味しくご飯が炊けた日などいろんな日があるが、男性3人に手伝ってもらって75歳でも頑張っている。マイスター工房がますます発展するように願っている。

(お年寄りに住み良い町に)

近くに診療所はあるが、週に何回かしか開院していないため他の病院に行かなくてはいけない。バスも1時間に1本しかなく、バス停も遠い。大きなバスでなくてもいいので、病院などを回るバスが走って、お年寄りも生活しやすい町になってほしい。

(学校の統廃合)

孫が「また部活がなくなる」などと話をする。この先はどうなるのだろうかと思う。子どもなりに「統合するのかな」と話しているのを聞くと、八千代区の将来に不安を感じる。

(古民家再生)

「新しく家を建てるよりも古民家を再生させる」という国の説明を聞いている。田舎の地域をもっと活性化させることを期待している。

(マイスター工房で働くことが自慢)

マイスター工房八千代に勤めていることは自慢。有名なマイスター工房八千代で働けることがうれしい。

(仕事ができる多可町に)

孫たちも近くで仕事ができ、生活ができるような多可町になれば希望が持てる。

(雇用の場がない)

娘が就職活動をしているが、家から通いたいのに雇用の場がないので町を出てしまう。地域的な課題があるのが残念。

(休耕田の維持)

田んぼが3反あるが、維持に困っている。多くの田畑を休耕田にし、どうしたらいいのかわからない。最近、都会から田舎暮らしに来ている方に野菜作りのために田畑を貸している。

(働く場があることに感謝)

私の年齢でも勤めがあることは周囲に羨ましがられている。周囲は過疎化しているのが現実で、私たちが働く場があることに感謝している。

(空き家整備の重要性)

空き家が増えているが手離さない人が多いので活用が進まない。若者が田舎で在宅ワークを行える受入れ施設として、空き家活用を行うにあたり、地元の協力・理解を得ることが一番のハードルだ。「空き家が増える、若者が出て行ってしまい寂しい」と言う前に、空き家を賃貸とし、活用しやすくする取組を進めていかないといけない。

(この先が不安)

私の息子は障害があり作業所でお世話になっているが、コロナで自宅待機をしていると、この先が不安になる。今後30年で空き家や休耕田が増えるが、これから先をしっかりとどうすべきか考える必要がある。